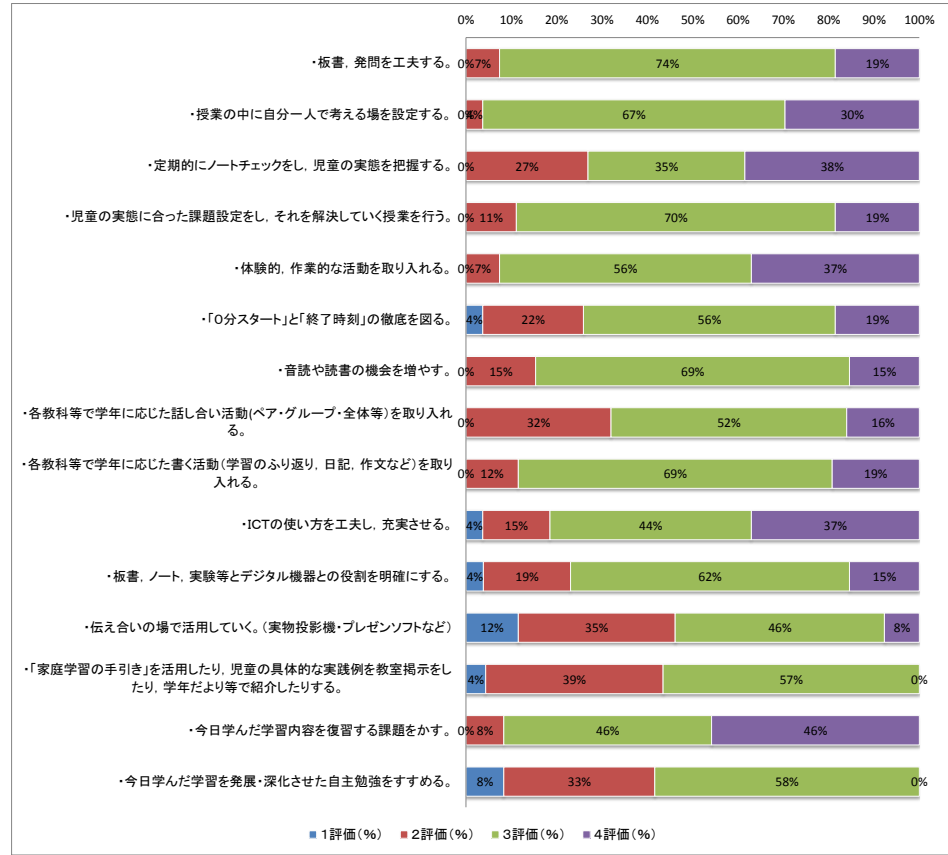
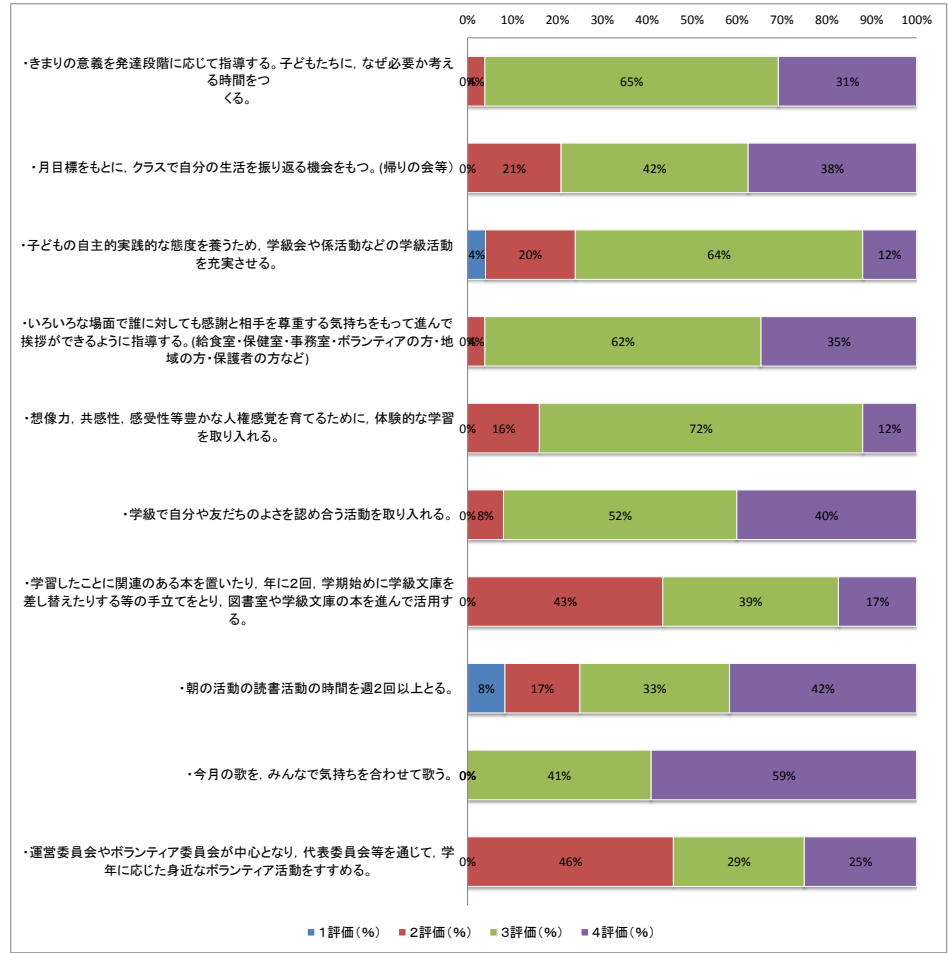


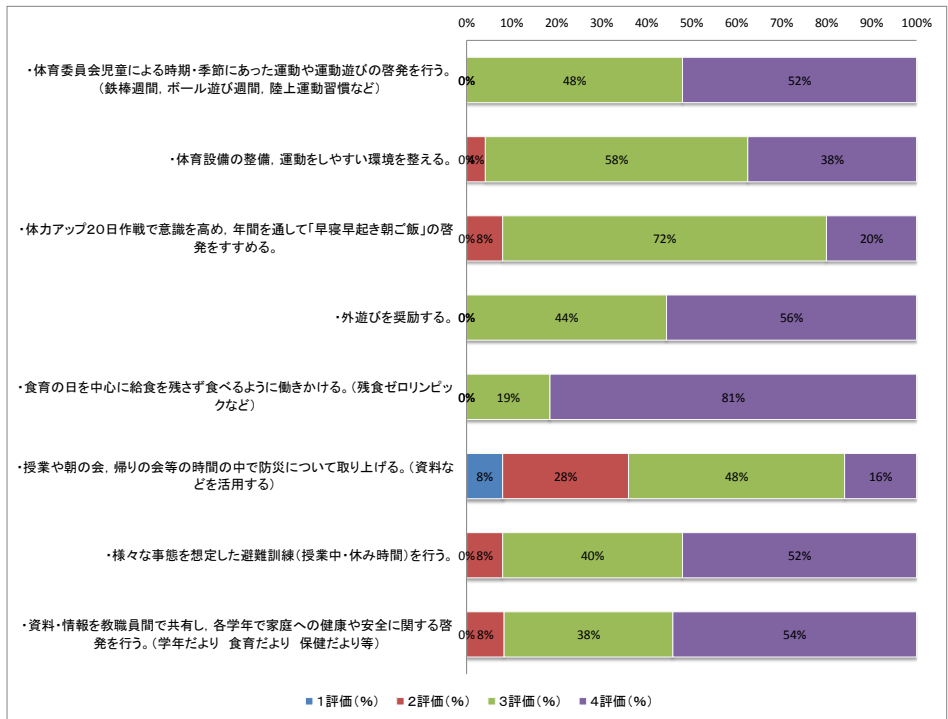
1		具体的取り組み事項					
		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
分かる授業の推進・充実	・板書、発問を工夫する。	0%	7%	74%	19%	7%	93%
	・授業の中に自分一人で考える場を設定する。	0%	4%	67%	30%	4%	96%
	・定期的にノートチェックをし、児童の実態を把握する。	0%	27%	35%	38%	27%	73%
学習意欲の高揚、学び方の習得	・児童の実態に合った課題設定をし、それを解決していく授業を行う。	0%	11%	70%	19%	11%	89%
	・体験的、作業的な活動を取り入れる。	0%	7%	56%	37%	7%	93%
	・「0分スタート」と「終了時刻」の徹底を図る。	4%	22%	56%	19%	26%	74%
読む・書く・話す等の言語活動の充実	・音読や読書の機会を増やす。	0%	15%	69%	15%	15%	85%
	・各教科等で学年に応じた話し合い活動(ペア・グループ・全体等)を取り入れる。	0%	32%	52%	16%	32%	68%
	・各教科等で学年に応じた書く活動(学習のふり返し、日記、作文など)を取り入れる。	0%	12%	69%	19%	12%	88%
ICTを活用した効果的な指導	・ICTの使い方を工夫し、充実させる。	4%	15%	44%	37%	19%	81%
	・板書、ノート、実験等とデジタル機器との役割を明確にする。	4%	19%	62%	15%	23%	77%
	・伝え合いの場で活用していく。(実物投影機・プレゼンソフトなど)	12%	35%	46%	8%	46%	54%
家庭学習のすすめ	・「家庭学習の手引き」を活用したり、児童の具体的な実践例を教室掲示をしたり、学年日より等で紹介したりする。	4%	39%	57%	0%	43%	57%
	・今日学んだ学習内容を復習する課題をかす。	0%	8%	46%	46%	8%	92%
	・今日学んだ学習を発展・深化させた自主勉強をすすめる。	8%	33%	58%	0%	42%	58%



2		具体的取り組み事項					
		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
集団の一員としての自覚やマナー・規範意識の高揚	・きまりの意義を発達段階に応じて指導する。子どもたちに、なぜ必要か考える時間をつくる。	0%	4%	65%	31%	4%	96%
	・月目標をもとに、クラスで自分の生活を振り返る機会をもつ。(帰りの会等)	0%	21%	42%	38%	21%	79%
	・子どもの自主的実践的な態度を養うため、学級会や係活動などの学級活動を充実させる。	4%	20%	64%	12%	24%	76%
人権感覚を磨き、人権尊重の精神の涵養	・いろいろな場面で誰に対しても感謝と相手を尊重する気持ちをもって進んで挨拶ができるよう指導する。(給食室・保健室・事務室・ボランティアの方・地域の方・保護者の方など)	0%	4%	62%	35%	4%	96%
	・想像力、共感性、感受性等豊かな人権感覚を育てるために、体験的な学習を取り入れる。	0%	16%	72%	12%	16%	84%
	・学級で自分や友だちのよさを認め合う活動を取り入れる。	0%	8%	52%	40%	8%	92%
読書活動・表現活動等の推進	・学習したことに関連のある本を置いたり、年に2回、学期始めに学級文庫を差し替えたりする等の手立てをとり、図書室や学級文庫の本を進んで活用する。	0%	43%	39%	17%	43%	57%
	・朝の活動の読書活動の時間を週2回以上とる。	8%	17%	33%	42%	25%	75%
	・今月の歌を、みんなで気持ちを合わせて歌う。	0%	0%	41%	59%	0%	100%
ボランティア活動の推進	・運営委員会やボランティア委員会が中心となり、代表委員会等を通じて、学年に応じた身近なボランティア活動をすすめる。	0%	46%	29%	25%	46%	54%

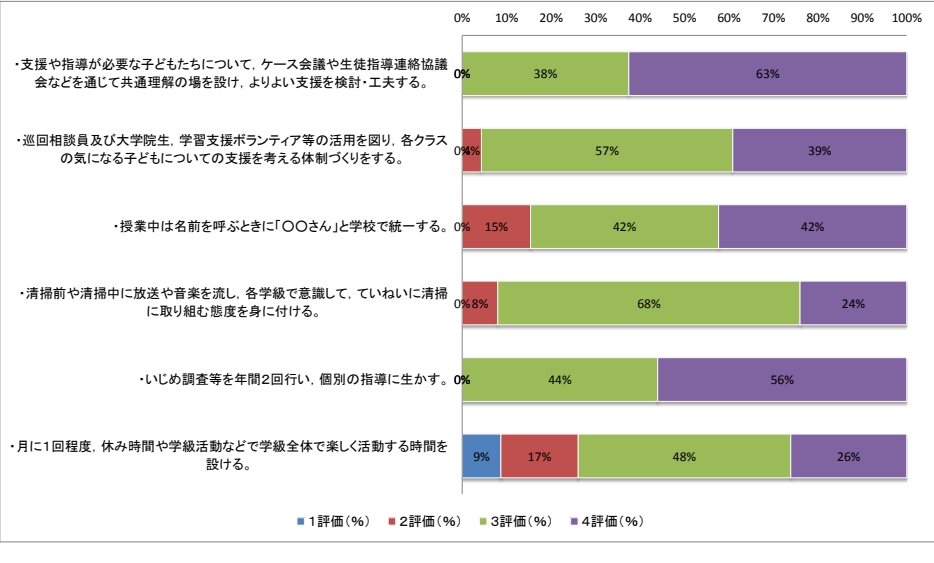


3		具体的取り組み事項					
		1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
運動の楽しさや喜びを体験させ、運動意欲・能力の向上	・体育委員会児童による時期・季節にあった運動や運動遊びの啓発を行う。(鉄棒週間、ボール遊び週間、陸上運動習慣など)	0%	0%	48%	52%	0%	100%
	・体育設備の整備、運動をしやすい環境を整える。	0%	4%	58%	38%	4%	96%
健康・体力づくりの推進	・体力アップ20日作戦で意識を高め、年間を通して「早寝早起き朝ご飯」の啓発をすすめる。	0%	8%	72%	20%	8%	92%
	・外遊びを奨励する。	0%	0%	44%	56%	0%	100%
	・食育の日を中心に給食を残さず食べるように働きかける。(残食ゼロリンピックなど)	0%	0%	19%	81%	0%	100%
自分の命は自分で守る判断・行動力の育成(防災・安全)	・授業や朝の会、帰りの会等の時間の中で防災について取り上げる。(資料などを活用する)	8%	28%	48%	16%	36%	64%
	・様々な事態を想定した避難訓練(授業中・休み時間)を行う。	0%	8%	40%	52%	8%	92%
家庭や地域との連携・啓発	・資料・情報を教職員間で共有し、各学年で家庭への健康や安全に関する啓発を行う。(学年だより 食育だより 保健だより等)	0%	8%	38%	54%	8%	92%



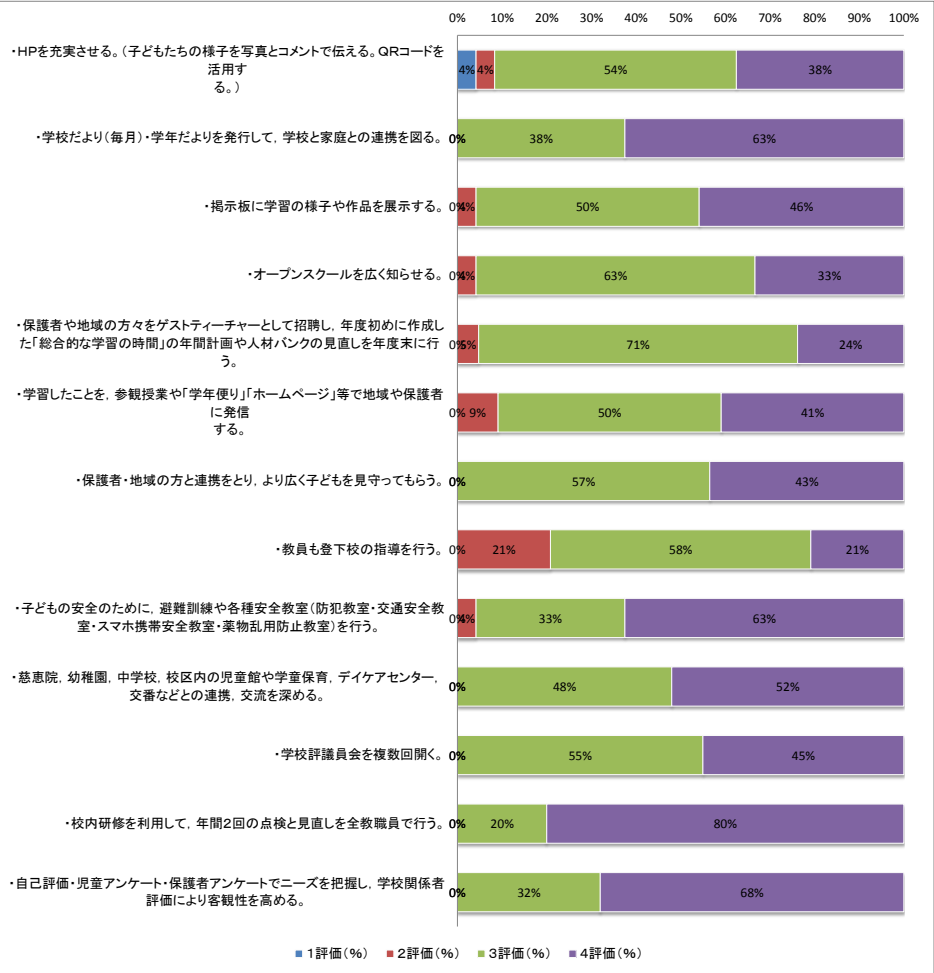
4

4		具体的取り組み事項				1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
子ども一人一人のニーズを把握し、それに適した支援方法や体制の充実	・支援や指導が必要な子どもたちについて、ケース会議や生徒指導連絡協議会などを通じて共通理解の場を設け、よりよい支援を検討・工夫する。	0%	0%	38%	63%	0%	100%				
	・巡回相談員及び大学院生、学習支援ボランティア等の活用を図り、各クラスの気になる子どもについての支援を考える体制づくりをする。	0%	4%	57%	39%	4%	96%				
基本的な生活習慣の確立	・授業中は名前を呼ぶときに「〇〇さん」と学校で統一する。	0%	15%	42%	42%	15%	85%				
	・清掃前や清掃中に放送や音楽を流し、各学級で意識して、ていねいに清掃に取り組む態度を身に付ける。	0%	8%	68%	24%	8%	92%				
自律心と社会性・協調性の育成、自尊感情の育成	・いじめ調査等を年間2回行い、個別の指導に生かす。	0%	0%	44%	56%	0%	100%				
	・月に1回程度、休み時間や学級活動などで学級全体で楽しく活動する時間を設ける。	9%	17%	48%	26%	26%	74%				



5

5		具体的取り組み事項				1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
学校教育活動の公開や情報発信の積極的推進	・HPを充実させる。(子どもたちの様子を写真とコメントで伝える。QRコードを活用する。)	4%	4%	54%	38%	8%	92%				
	・学校だより(毎月)・学年だよりを発行して、学校と家庭との連携を図る。	0%	0%	38%	63%	0%	100%				
	・掲示板に学習の様子や作品を展示する。	0%	4%	50%	46%	4%	96%				
	・オープンスクールを広く知らせる。	0%	4%	63%	33%	4%	96%				
「総合的な学習の時間」等における地域に根ざした教育活動の推進	・保護者や地域の方々をゲストティーチャーとして招聘し、年度初めに作成した「総合的な学習の時間」の年間計画や人材バンクの見直しを年度末に行う。	0%	5%	71%	24%	5%	95%				
	・学習したことを、参観授業や「学年便り」「ホームページ」等で地域や保護者に発信する。	0%	9%	50%	41%	9%	91%				
地域・家庭との連携を密にして、子どもの安全確保・健全育成等を推進	・保護者・地域の方と連携をとり、より広く子どもを見守ってもらう。	0%	0%	57%	43%	0%	100%				
	・教員も登下校の指導を行う。	0%	21%	58%	21%	21%	79%				
関係機関との連携・交流の充実	・子どもの安全のために、避難訓練や各種安全教室(防犯教室・交通安全教室・スマホ携帯安全教室・薬物乱用防止教室)を行う。	0%	4%	33%	63%	4%	96%				
	・学校評議員会を複数回開く。	0%	0%	55%	45%	0%	100%				
	・校内研修を利用して、年間2回の点検と見直しを全教職員で行う。	0%	0%	20%	80%	0%	100%				
学校評価の計画的な実施と学校運営の改善・充実	・自己評価・児童アンケート・保護者アンケートでニーズを把握し、学校関係者評価により客観性を高める。	0%	0%	32%	68%	0%	100%				



6

6		具体的取り組み事項				1評価(%)	2評価(%)	3評価(%)	4評価(%)	マイナス評価	プラス評価
主体的な学びを育てる教材・学習方法の工夫	・主体的、協働的に学ぼうとする児童の育成を目指した授業研究を充実させる。	0%	12%	56%	32%	12%	88%				
	・ICT等を活用した授業を積極的に取り入れ、児童が主体的に学ぶ力を育てる。	0%	12%	54%	35%	12%	88%				
	・授業を互いに参観する機会を設ける。	4%	8%	56%	32%	12%	88%				
言語活動の充実をめざす指導方法等の研究	・話し合い活動(ペアグループ全体)や書く活動を大切に授業を充実させ、児童のコミュニケーション能力を高める。	0%	12%	65%	23%	12%	88%				
教職員としての力量形成・徳・体のバランスのとれた力の育成、個に応じた教育・環境の充実、コンプライアンス意識等	・ICT等の活用に関する研修を行う。	8%	42%	50%	0%	50%	50%				
	・子ども理解を中心とした特別支援教育・生徒指導に関する研修を充実させる。	0%	8%	73%	19%	8%	92%				
	・Eラーニングを利用して、コンプライアンスの意識を高める。	0%	0%	46%	54%	0%	100%				
「チーム福島」で、補充・協働する体制の構築	・互いにあたたかい声をかけ合い、協力し合う。	0%	0%	21%	79%	0%	100%				
	・報告・連絡・相談をし合う。	0%	0%	14%	86%	0%	100%				
	・生徒指導上の緊急を要することに対する充実した対応を、今後も継続させる。	0%	0%	23%	77%	0%	100%				

